

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%  
保護者様： 37名回答、回答率 84.4%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・今年度から1枠4名まで個別での療育を提供できるように個室の配置を変更をおこなった。
- ・教室内は段差などではなくバリアフリーへの配慮はなされており、活動スペースと個室スペースを適切な広さを確保する事ができている。
- ・療育道具の配置を再検討し、療育道具の配置を比較的分かりやすくなるように変更をおこなった。

### ○業務改善

- ・提供する支援内容について、毎日ミーティングにて利用者の様子も含めて振り返りをしている。
- ・支援終了後にも、すぐにフィードバックでいただいた相談内容や支援の中で気付いた点を共有し合っている。

### ○適切な支援の提供

- ・適宜個別支援計画の振り返りを実施。また、作業療法士・心理士にも助言を求めながらチーム全体でプログラムを立案している。
- ・個別支援計画をもとに利用者に合わせて個別だけでなく小集団での活動も行っている。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・利用者からご要望いただいた際、学校や相談事業所と連携して利用者の様子等について確認している。

### ○保護者への説明責任等

- ・支援終了後にフィードバックの時間にて、支援内容・利用者の様子についてお伝えしている。
- ・事業所内相談支援加算対応時に、その日の支援内容だけでなく利用者の生活の中でのお困りごとについて、心理士とも連携しながらフィードバックを行っている。

### ○非常時等の対応

- ・月ごとに全利用者に向けて、地震・火災・不審者対応などテーマごとに実践訓練・座学を実施している。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

- ・子どもの活動等のスペースが十分に確保されているかという質問では、「2名以上の小集団で行う際は、狭いように感じる」というご意見を頂いた。小集団での活動も増えてきているため、小集団で対応する際の教室配置について再度検討が必要である。
- ・専門性について、「質問にはっきりと答えられない際は次回までに調べてくださる。」というご意見があるものの、助言の際に「専門的な助言をもらえない」というご意見もあったため全指導員の専門性の更なる向上を目指していきたい。

### ○適切な支援の提供

- ・「個別のニーズに合わせて子どもが関心を持ちやすくなるようにプログラムを工夫してくださっている」等と9割以上の保護者様からご回答いただいた。

### ○保護者への説明等

- ・「親身に話を聞いて回答してくれる。」「いつも困ったことを聞いてくれて、支援に反映してくれている」等と丁寧な説明がなされているというご意見をいただいた。

### ○非常時等の対応

- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの周知・説明されている質問では、約3割の保護者様が「いいえ」と回答しており、周知が不十分である。

### ○満足度

- ・スマートキッズで取り組んでくれたおかげで、学校でもみんなと一緒に取り組めたことがある。
- ・苦手なことを楽しく誘ってくれて、先生方の明るい雰囲気、優しい工夫に親子でいつも助けられています。と多くの保護者様から評価していただいた。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

- ・曜日や実施時間を分散して避難訓練のプログラムを設け、1年間でできるだけ多くの利用者に対して訓練を実施する。また、フィードバックや面談、その他保護者とのやりとりの際に訓練実施の詳細を伝え、緊急時の対応について共有していく。
- ・収納スペースの確保の為に、棚や机、パーティションなどの配置を検討する。

### ○改善できた点・まだ残る課題

- ・避難訓練に関しては、一週間を通して可能な限り全てのご利用者様に取り組んでいただいた。しかし、保護者様には実施後のみの周知となっていたため、事前にお手紙や掲示等で周知していく。
- ・療育で使用する道具を一か所にまとめ、パーティションも活用しながら、ご利用者様に見えにくい配置にすることはできた。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・ご利用者様の興味・関心が持てるようなプログラムの策定により、多くのご利用者様から満足度の高い支援を提供することができている。
- ・保護者様との円滑なコミュニケーションをとれる環境を作ることができおり、ご利用者様の状況や課題について共通理解をもつことができている。

### ○改善点

- ・チーム全体での専門性の向上
- ・保護者様に対して漏れなく、より丁寧な情報伝達、周知が必要

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・非常災害の発生に備えた避難訓練の計画見直し。
- ・療育室の環境整備。
- ・職員全体での専門性の向上。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・避難訓練を毎月一週間通して実施し、多くのご利用者様に参加していただく。
- ・配置を見直したが、運動時に使用する道具に関しては、活動スペースの隅に置いている形になっている。そのため、お子様の目に触れない位置に道具を収納するスペースを確保する。
- ・教室職員の専門的な知識の向上のために、定期的に心理士や作業療法士の助言を受けたり、教室研修を実施する。